

## ヒッポファミリークラブ活動紹介

# コロナ禍でも、多言語で広がる新しい世界

ヒッポファミリークラブ 狭山 市川弘美

このコロナ禍により、直接には、人と会うことを制限しなければいけない、国内も世界も、人との交流も行き来も不自由、非常に残念な年となっています。

Stay Home、自粛期間も長くなり、私たちは、家族と一緒にいることを楽しむ、家の中での環境作りを充実するようになりました。様々な便利な機器(スマホ、パソコン、スピーカー)などを活用し、対面で行っていた活動がオンラインやラインなどの使用でと切り替わりました。スマホやパソコンなどを通して一緒に多言語を聞き楽しみ、話し、意見交換、また言語・自然科学・脳科学などの様々な書籍の輪読、講座、講演会、体験会、交流報告や高校留学報告会などもオンライン実施が主流となっています。



10/31 オンラインワークショップ

機械操作に不慣れのため当初は時間がかかることばかり、ネット環境もグレードアップしながら、今ではZOOM(オンライン会議アプリ)にも慣れました。この秋、入間・飯能・日高・狭山市の各教育委員会や文団連の後援、埼玉県のみなびいプロジェクトの協賛もいただき、ZOOMを活用しての“家族で参加できるオンラインワークショップ”を開催しました。反響をいただき多数のお申込み、参加となり、ご家族で楽しんでもらいました。10月31日のワークショップ(写真)ではハロウィーンの仮装も楽しんで参加してもらいました。

現在、公共施設を使用しての、人が集う活動も再開しています。感染予防に十分注意しながらですが、人と直接会うことが、どれほど人にとって大事であるか、直接会話できることの嬉しさと喜び、心も体も元気になれる、人と人との関わり合いの大切さ、有難さをつくづく実感しております。

今後コロナの収束もわからない状況のなかですが、活動も新たに、工夫しながら、生活とともに変わっていくであろうと思っています。



## 新規加盟団体会員紹介

# ハワイアンクラフト協会

代表 柴田富美子

学生時代は、絵画造形を専攻。自然と動物の温かさを大切に作品作りしています。

大学卒業旅行で訪れたハワイの空と海の美しさに惹かれ、ハワイアンキルトを作り始めたのは、もう30年も前になってしまいました。ビショップ博物館でキルトの教室を開いていたデボラカカリア★アンティデビーからハワイアンキルトを習ったのは、昨日のこのようです。

ハワイ語でHoloholoとは、のんびり散歩する☆チクチクキルトイングするという意味になります。Holoholo楽しみながら、現在はハワイのALOHAが感じられるハワイアンティディベアの製作を中心に行っています。ティディベアの不思議な人を癒す力とハワイの文化・伝統・神話を融合させて、明るい光を人々に伝えたいと作品作りを楽しんでいます。

入曽地域交流センターにてティディベア製作のサークルで、動物に優しくフェイクファーと羊毛フェルトを使用し、想いのこもった可愛い自分1人の子を作っています。

